

平成 29 年 6 月 29 日
九州電力株式会社

日本郵船と L N G 輸送協力体制構築に関する覚書を締結

- 日本郵船 L N G 船団余力の有効活用による輸送柔軟性向上と
L N G 供給事業の共同検討 -

当社と日本郵船株式会社（以下、日本郵船）は、これまで両社が積み上げてきたエネルギー輸送における実績と信頼関係を基に、本日、L N G 輸送等の協力体制構築に関する覚書を締結いたしました。

具体的な協力内容は、次のとおりです。

- 1．当社 L N G の短期需要発生時における、日本郵船 L N G 船団余力の有効活用により、当社は L N G 輸送における柔軟性向上を図る一方、日本郵船においては効率配船による収益力向上を目指すべく、検討してまいります。
- 2．L N G 供給と船舶事業の複合事業（L N G バンカリング など）の共同実施可能性について、検討してまいります。

なお、当社は、豪州ウィートストーンプロジェクトをはじめとする当社 L N G の輸送向けに、今月より日本郵船保有の L N G 船「グレース・バレリア (Grace Barleria)」(総トン数：100,450 トン) を傭船しました。本船の活用に加えて、本覚書で取り決めた船団の有効活用により L N G 輸送の柔軟性が大幅に向上するものと期待しております。

両社は、今後も双方のお客さまのメリットに繋がる分野について幅広く協力体制の構築に努めてまいります。

L N G バンカリング：船舶燃料として L N G（液化天然ガス）を供給すること

(参考) 日本郵船 L N G 船団余力の有効活用 (イメージ)

ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九州電力の願いです。